



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第542号

2022年3月14日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 「潤沢」にため込まれている各種基金

八千代市の財政の現状について、市は「潤沢とは言えないが一定の確保がなされている」と控えめな評価を下していますが、新型コロナウイルス感染拡大が続く中で、市民の暮らし・福祉を守るための財源はあります。

家庭での貯金にあたる財政調整基金は、令和3年度末で、40億3千万円となっています。7年前の平成26年の11億3千万円と比較して、3.5倍と飛躍的な増となっています。

市債の償還財源の確保や適正な管理の名目で積み立てられている市債管理基金は、9億1千万円、平成26年の2億7千万円との比較でも3.37倍に膨れ上がっています。

その他、特定目的基金では、庁舎整備基金 19億5千万円、特別会計の国保事業で7億6千万円、介護保険事業で14億円が基金としてため込まれています。

## 負担増によって生み出された財源を市民に還元せよ

このような基金の急激な膨張は、市民への負担増によって生み出されたものであり、市民に還元すべきです。

22年度予算で見ると顕著に増えているものとして対前年度比、個人市民税 6億7千万円、法人で3億2千万円、合わせて市民税で約10億円、固定資産税では、流通センターの稼働やコロナ禍で据え置きとなっていた地価上昇分の凍結解除で 4億8千万円、1昨年10月10%への増税による地方消費税交付金 約4億円などとなっています。

## 大型事業が目白押し

22年度予算として計上された大型事業として、大和田小、萱田小、新木戸小の自校給食をなくして進められる学校給食センター東八千代調理場に 約21億円、コンピュータ教育やGIGAスクール事業 5億8千万円、児童発達支援センター整備事業 5億9千万円 道路橋梁補修事業6億8千万円、上下水道局庁舎移転先の第2別館の増改築 約11億円などとなっています。

その他、今後の事業として、新庁舎建設事業 84億円、公共施設等個別計画による小中学校22校を対象に7校に削減する統廃合計画などが計画されています。

## 事業の優先順位を決めるのは市民

市庁舎建て替えでは、基本計画の見直し案がまとまり、3月16日から意見募集が行われます。市民への情報提供とともに、市民参加によるまちづくり推進のために、各種各層による懇談会など設置すべきです。

日本共産党は、事業の優先順位を決めるのは市民であるとの立場で、これからも行政の監視役として奮闘する決意です。

